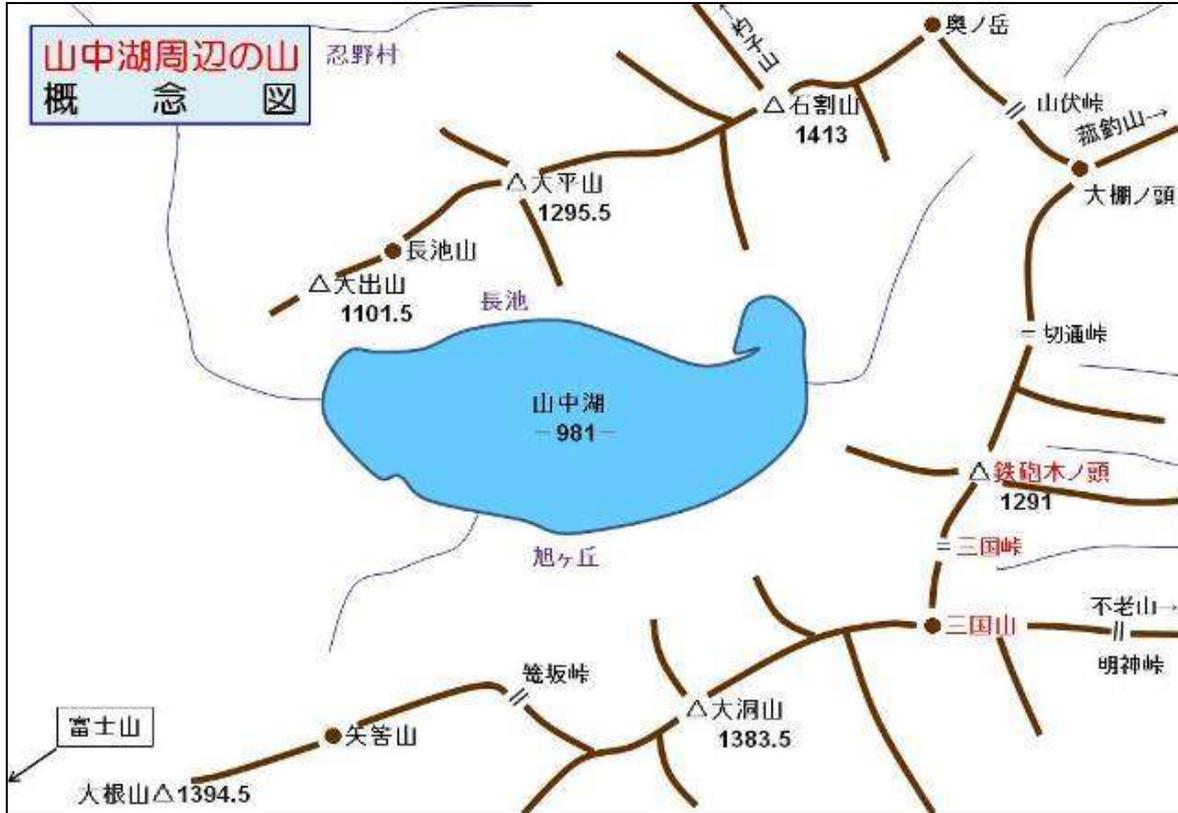


# 踏み跡 <My Mountains>

丹沢	三国峠から三国山及び鉄砲木ノ頭往復	No.238
----	-------------------	--------

山中湖マラソンの帰り道の登山。今回は山中湖東岸に座し、丹沢との境界に立つ三国峠付近の山を歩いてみることにした。湖畔から見ると柔らかな曲線の丘のような山が見える。ここから山中湖と富士とを見たらさぞ美しかろうと、地図を見ながら想像してみた。



平成5年10月24日

山中湖マラソンの翌朝、天気は快晴。朝から凄いい迫力で富士山を拝むことができる。

会社の寮で朝食をとった後付近のお店に入って昼食とフィルムを買い込んで、9時15分に出発。三国峠まで車で上がり、峠で駐車して登山靴に履き替えて9時55分に出発。



山中湖と富士山、当然のような景色が広がる。まずは南へ登って三国山へ行ってみる。

三国山 (1340m) 10時10分。期待に反して頂上には木が生えていた。どなたかの俳句にあるように「木の間にぐれの雪の富士」となってしまった。峠に戻り、今度は山中湖と富士を左手に見ながら柔らかなカーブの稜線を登って行く。まるで散歩でもしているかのような錯覚に陥るのどかさ。

鉄砲木ノ頭 (1291m) 10時55分。頂上には三角



点と「山中湖村諏訪神社奥社」と書かれた立派な祠がある。足元は火山礫と砂の禿げ山で眺望は絶好、文句なし。見えるものは言うまでもなく上部三分の一を白く染めた晩秋の富士山。まだ浅い雪の中にジグザグに付いた登山道がうかがえる。長く引いた裾野と山中湖の湖岸の曲線。他にも色々なものが見えるのに、どうしても富士だけに目が行ってしまう。

景色を楽しみながら大休止。

12時24分出発、三国峠に戻り車で下山。帰りは山伏峠・道坂峠ほか道志の山林に踏み入ってきのこを探してみたが、収穫はなか

## 踏 み 跡 <My Mountains>

った。道志の谷は杉とヒノキが大量に植林されており、きのこには無縁な林のようだ。  
城ヶ尾峠に入る林道の奥で手ごろな河原を見つけて昼食と一時間ほどの昼寝を楽しんだ後、15時に出発。  
道志川を抜けて、城山、小倉橋、久保沢、相原を経て八王子インターに入った。比較的スムーズに流れて自宅帰着は19時20分だった。  
終日快晴で素晴らしい眺めを楽しむことができた一日だった。

以上

<追記>

この山が属する山域は「丹沢」なのか「御坂」なのか難しい所ではあるが、西丹沢の稜線の一部なので、この資料の中では「丹沢」とした。